

日本家系図学会 役員会報告

2013.8.26(月)

以下に、先日8月24日(土)午後3時～4時に開催された役員会の報告を申し上げます。

場所：広尾の 東京神殿別館の礼拝堂

参加者など：当初6名の予定が急遽の予定等で、結局、会長以下4名の出席となった。なお、数名を除き、欠席者からは委任の連絡を受けており、役員会は成立し、以下の議事も全て了承された。

1 経理関係の審議

大森事務局長代理から、平成24年度収支決算書、25年度収支見込書及び26年度収支予算書案が提示・説明された。

概要としては、平成24年度は若干の黒字で繰越損失額がその分だけ減少となり、今25年度もほぼ同様の見込みだが、会費納入の実会員数が若干減少の動きもあって、予断を許せない面がある。まだ、会計監査を終えていない状況とのことで、これからの会計監査が問題なく終了することを条件に、上記3案については役員会了承とされた。

2 本年度総会の手順など

日時：11/2(土)午後3時～5時

終了後に有志による懇談会：午後5時半～

場所：広尾の 東京神殿別館の礼拝堂

(例年の総会が開かれる会場と同じ。有栖川公園横の坂道の左側)

上記、日程は了承された。9月中旬頃に、会員に対して総会のご案内通知を出す予定。

なお、当日、大森事務局長代理は特別事情があり、司会進行は吉濱理事が担当することとなった。

3 役員改選

改選期を迎えた役員の任期延長—基本的に、拒絶される方を除いて、再任でどうかという方針が了承された。なお、副会長の本郷教授からは再任の了承を得ている。

新役員の登用：役員会までに特に推薦はこなかったが、秋田県の畠山一篤氏について、役員就任の打診をしてはいかがかということになった。

また、吉濱理事について常務理事への推薦を行うこととなった。

以上の結果は、総会での決議事情ですので、再任について特に不都合・異議のある方は当職までご連絡下さい。ご連絡なき限り、ご了承とさせていただきたいと思っております。

4 講演の講演者 村井祐樹(むらい・ゆうき)さんに依頼することを確認した。

講演内容は、近江の佐々木六角氏の戦国期の動向や史料の収集・取り扱い方など

経歴等：1971年生まれで、1994年に早稲田大学政経学部卒、2000年大学院文学研究科博士課程単位取得退学、同年東大史料編纂所助手、現在同助教

最近、『戦国大名佐々木六角氏の基礎的研究』という著書を刊行。

一般講演の他、プロジェクターによる画像紹介もあるとのこと、その辺の手配は会場のお世話になるファミリーサーチさんをお願いしておきました。

5 その他

○会員の老齢化などの事情もあってか、24, 25年度に会員数の減少が見られるので、なんらかの増強策がとれないか？ 岸副会長からは、主宰している日本郷土史学会への紹介も考えたいという話があった。個別にネット利用などで、増強につとめるしかない。

例えば、会誌の売上にもつながることだが、一部掲載記事について、内容紹介などの方法も考えられないか、との提議もあった。

○学会HPにある掲示板の書込に努めてはどうか、などの意見もあった。

○会誌10号の原稿はほぼそろいつつあるが、内容に新鮮みをだすために、今後、新規投稿者について増加が考えられないか。また、関心をお持ちの方がいれば、家紋などの記事も掲載できないものか。

<備考> 主な来信内容の紹介

○井澤常務理事：11月2日(土)の総会については東濃多治見講座と重なっているので、残念ですが欠席。但し、「六角氏の研究」については村井祐樹氏を是非とも御紹介賜りたく、可能なら私の代理での参加が如何なものかと存じます。→了解です。

○西村理事：村井先生の著書は、今年初めに購入、読了とのこと。楽しみにしていたが、都合により欠席とのこと。

○斎藤理事：秋田県や山形県でも豪雨が発生したが、幸い実家付近は大丈夫とのこと。

○岩城理事（北三陸市）：役員会欠席も、総会には出席するとのこと。

(以上) 文責：宝賀寿男